

2024

コースガイド

歴史遺産コース

2024/4/15更新

訂正箇所

p.14 「履修モデル」

2024/4/30更新

訂正箇所

p.12,13 「芸術学科専門教育科目 スクーリング日程」

p.15,18 「履修モデル」

p.22 「過去の「卒業成果物」閲覧申込」

赤字箇所をご確認ください。



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

京都は、日本でもっとも古い都市でありながら、今なお都市として生きつづけています。しかも、東京などのようにひとりの人間の想像力では到底およばないほど巨大にはならず、かといって鄙^{ひな}びた小都市でもない、等身大といった言葉がぴったりとくる大きさを保っています。

どこにいてもはるかに眺めることのできる比叡山^{ひえいざん}や愛宕山^{あたごやま}のすがた、繁華街やビルの建ちならぶ地域を横目に見ながらしずかに流れる鴨川^{かもがわ}、そこには鮎^{あゆ}を釣る人のすがたすら見つけることができるのです。

今から約500年前の戦国時代、土佐派や狩野派の絵師たちは、当時の京都のすがたをあざやかに描き残しています。いわゆる洛中洛外図^{らくちゅうらくがいず}と呼ばれるものがそれです。はるか昔の絵画ですから、常識的にいえば現代からは想像もつかない風景がそこに描かれていると考えるのがあたりまえでしょう。

ところが、京都では、そこに描かれている風景を十分に想像できる範囲で、さまざまな景物が残っているのです。もちろん、ヨーロッパの中世都市のように中世の建物や街並みがそのまま残っているというわけにはいきませんが、なにげない街路の名前でさえ洛中洛外図の時代のまま、という場合が少なくないのです。

京都で歴史や文化を学ぶ最大の利点は、何よりこのように想像力を発揮すれば、それにこたえてくれる環境がまだ息づいていることにあります。

文字だけではけっして理解できない歴史遺産都市、京都。その重層的な歴史の奥ゆきを解きほぐし、学びながら、自らの知性と感性をきたえることがひいては自分たちの暮らす各々の地域の歴史をよりよく理解することにつながるにちがいありません。

目次

1. 学習を進めるにあたって	2
2. 歴史遺産コースでの学習の進め方	3
3. 2024年度の主な変更事項および注意点	4
4. 専門教育科目一覧	5
5. 卒業要件、卒業研究着手要件	7
6. カリキュラムマップ	10
7. 芸術学科専門教育科目 スクーリング日程	12
8. 歴史遺産コース専門教育科目 スクーリング日程	13
9. 履修モデル	14
10. 新旧科目対応表	19
11. 論文研究・卒業研究	20
12. 過去の「卒業成果物」閲覧申込	22
13. 学外スクーリングを受講される方へ	23

『コースガイド』を使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。入学許可後は、airU学習ガイドやシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、airU学習ガイドもあわせて参照してください。

1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験/作品課題がある科目	対面/遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面/遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験 スケジュール	春期			夏期			秋期			冬期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR テキストレポート科目	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8
TW テキスト作品科目	作品 11~22	作品 11~20		作品 11~22	作品 11~20		作品 11~21	作品 11~20		作品 11~20	作品 11~20	
TX テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS Webスクーリング科目		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20
S スクーリング科目	春期先行募集 2~6	夏期先行募集 17~25			秋期先行募集 17~26			冬期先行募集 16~25				2024年度 春期先行募集 4月上旬
	春期追加募集 16~(開講30 ~5日前)		夏期追加募集 10~(開講30 ~5日前)			秋期追加募集 10~(開講30 ~5日前)			冬期追加募集 10~(開講30 ~5日前)			
GS 藝術学舎科目			夏季申込 6月初旬~			秋季申込 9月初旬~			冬季申込 12月初旬~			2024年度 春季申込 3月初旬~

- ・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間はairU学習ガイドを参照してください。
- ・スクーリング科目における追加募集の締切日につきましては、airUマイページ>スクーリング>「スクーリングを申し込む」>スクーリング一覧より確認してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。
詳細はairU学習ガイド>学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュールを確認してください。

3. 課題提出方法

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）で受験できます。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期限内にairUマイページより手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関してはairU学習ガイド>教育課程>単位認定>藝術学舎取得単位の認定を確認してください。

2. 歴史遺産コースでの学習の進め方

1. 履修計画の立て方

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための科目がどのように配置されているのか、各科目の関係性を示した図「カリキュラムマップ」(pp.10～11)を確認し、履修計画の参考にしてください。

- ・総合教育科目…興味のある科目を自由に履修。必修科目はありません。
 - ・学部共通専門教育科目…興味のある科目を自由に履修。2015年度以降入学生は12単位以上必修。
 - ・芸術学科専門教育科目
 - ・歴史遺産コース専門教育科目
- カリキュラムマップを参考にしましょう。

本年度に入学されたみなさんは、カリキュラムマップのうち、まずSTEP1の科目群の入門科目から履修しましょう。同じ枠内に記載されているテキスト科目とスクーリング科目を並行して学習することでよりいっそう理解を深めることができます。3年次編入学生が2年間で卒業を目指す場合は1年目にSTEP1・STEP2の科目群を中心に履修することに加えて「論文研究Ⅰ-1～2」「論文研究Ⅱ-1～2」も履修してください。

2. スクーリング科目とテキスト科目の効果的な学び方

前述したように、新入生のみなさんはSTEP1の入門科目であるスクーリング科目「歴史遺産学概論」・テキスト科目「歴史遺産学Ⅰ-1(歴史遺産学入門)」・スクーリング科目「歴史遺産Ⅱ-1(文化遺産学基礎)」を、できるだけ初年度に履修するようにしてください。歴史遺産コースの最も基礎的な知識や考え方を授業で学び、それをもとに自宅学習の新たな課題につなげていくという仕組みになっています。学びのステップアップをより効果的なものとします。

これ以外にも、同年度にセットで履修することが望ましい科目群があります。

- ①京都の歴史を学ぶことで歴史の基礎を学ぶ科目群-芸術学科専門教育科目のテキスト科目「京都学入門」、スクーリング科目「京都の歴史」と歴史遺産コース専門教育科目STEP2のテキスト科目「歴史遺産学基礎講義(京都学)」です。なお、適宜、現地フィールドワーク系のスクーリング科目「歴史遺産フィールドワーク1(鎌倉)」、「歴史遺産フィールドワーク2(大原)」、芸術学科スクーリング科目「京都学研修1(平安京と宗教文化)」、「京都学研修2(京都の祭)」を組み合わせると、より実感を持って歴史を学ぶことができます。
- ②歴史史料を読むための科目群-芸術学科スクーリング科目「文献資料講読」、テキスト科目「史料学基礎」、テキスト科目「史料講読基礎」も、まずスクーリングで知識・技術を学び、それを自宅学習でテキスト課題に活かすという実践的な学習をもたらします。

3. コース専門教育科目以外からも学ぶ

コース専門教育科目以外にも、学科専門教育科目、学部共通専門教育科目、総合教育科目が用意されています。これらの科目を合わせて履修することによって、より幅広い知識・教養を身につけることができます。そうすることで、コース関連科目の理解もさらに深まるはずです。

また、一般公開講座「藝術学舎」でもコースの学修に関連する講座が春夏秋冬の四季ごとに開講されています。それらは本学通信教育課程の単位として認定されるものが多数あります。コースの授業とはまた角度が違う多彩な内容になっていますので、各季に発行されるパンフレットで講座内容を確認した上で受講されることをお勧めします。

3. 2024年度の主な変更事項および注意点

【変更点】

1. 新設科目について

レポートや論文を書くための基礎的な技法を学ぶスクーリング科目「アカデミックスキル入門」（遠隔）を新しく開講いたします。

【注意点】

1. 遠隔化にかかわるサポートについて

- ・2020年度以前入学の方でインターネット環境の利用が難しい場合は、個別に事務局までご相談ください。
 - － 「卒業要件」「卒業研究着手要件」にかかわる科目が遠隔開講で受講が困難な場合
 - － airUマイページからのスクーリングレポート提出が困難な場合 など。
- ・airUマイページやZoom等の基本的な利用方法については、年度当初に行われるガイダンスや資料等を準備しています。随時airUマイページ「お知らせ」で周知していきますので確認してください。なお、総合教育科目に「オンライン授業入門」を開講していますが、これまでにパソコンやインターネットを利用したことがない方に向けた内容になっています。ガイダンス資料等と重複する内容も多いことをあらかじめご了承ください。

2. スクーリングの申し込みにあたって

スクーリングは、必ず各科目のシラバスを確認して、開講時間・課題・受講地（開講形態）・授業計画などについて十分理解した上で申し込んでください。

・開講時間の注意

講義系は1日目3講時＋2日目5講時（0.5講時の授業後試験含む）、演習系は両日5講時の授業です。ただし、一部の科目では1日目と2日目で各4講時ずつの場合や、フィールドワークや遠隔の科目などでは不規則な授業時間となる場合があります。

・事前課題/事後課題/受講地（開講形態）などの注意

会場が【京都】【東京】【学外】でも、事前にWebを使った学習が含まれる場合があります。また、「履習の前提条件」として事前課題の提出が求められる場合で、提出をしなかった場合、そのスクーリングは単位認定対象になりません。

・同時配信科目の場合

同日に対面・遠隔両方のクラスが行われる同時配信科目においては、スクーリング申し込み時点で受講方法が決まります。後日の選択制ではありません。

4. 専門教育科目一覧

卒業に必要な単位に関しては、まず本『コースガイド』pp.7～9をお読みください。

入学年度によって□新要件、■旧要件となりますので、それぞれの要件を満たすようにしてください。

□新要件	2019年度以降入学（1年次入学、3年次編入学）
■旧要件	2015～2018年度入学（1年次入学、2・3年次編入学）

科目一覧					卒業要件					配当年次 (注2)	
科目群	科目区分	科目コード	科目名(注1)	単位数	S/T	□新要件		■旧要件			
						1年次入学	3年次編入学	1年次入学	3年次編入学		3年次編入学
						124単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門60単位以上)	124単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門36単位以上)	
芸術学 専門教育科目		50251	芸術学基礎	2	TR						1年次～
		50252	美術史学基礎 ※2019年度新設	2	TR						
		50253	地域芸術理論 ※2019年度新設	2	TR						
		50254	京都学入門	2	TR	●	●	●	●	●	
		50255	史料学基礎	2	TR	●	●	●	●		
		50256	史料講読基礎	2	TR	●	●	●	●		
		50257	文化批評概論 ※2023年度まで開講	2	TR						
		50264	日本文化の源流	2	TR						
		50265	日本文化と東アジア	2	TR						
		50266	日本の生活文化	2	TR						
		50101	芸術学概論	1	S						
		50102	日本美術論	1	S						
		50103	西洋美術論	1	S						
		50104	アジア美術論	1	S						
		50105	美術史学概論 ※2019年度新設	1	S						
		50106	音楽文化論	1	S						
		50107	京都の歴史	1	S	●	●	●	●		
		50108	文献資料講読	1	S	●	●				
		50109	京都学研修1 ※2019年度新設	1	S						
		50110	京都学研修2	1	S						
		50111	江戸の歴史	1	S						
		50112	神話学入門 ※2023年度まで開講	1	S						
		50113	世界の古典を読む ※2023年度まで開講	1	S						
		50114	日本の古典を読む ※2023年度まで開講	1	S						
		50115	京都の文芸 ※2023年度まで開講	1	S						
		50116	短歌と俳句 ※2023年度まで開講	1	S						
		50117	インタビューと取材の方法論 ※2023年度まで開講	1	S						
		50219	伝統芸能の諸相	1	S						
		50220	伝統芸能と工芸	1	S						
		50222	詩歌と日本文化	1	S						
		50223	花道文化の展開	1	S						
		50224	伝統文化の空間	1	S						
		50225	室礼ともてなし	1	S						
		50233	アカデミックスキル入門	1	S						
			仏教美術論 ※2018年度まで開講	2	S						
		文化芸術遺産フィールドワーク1 ※2018年度まで開講	1	S							
		文化芸術遺産フィールドワーク2 ※2018年度まで開講	1	S							
		文化芸術遺産フィールドワーク3 ※2018年度まで開講	1	S							
		文化芸術遺産フィールドワーク4 ※2018年度まで開講	1	S							
		地域芸術学フィールドワーク ※2018年度まで開講	1	S							
		絵画と日本文化 ※2018年度まで開講	1	S							
		茶道文化の展開 ※2018年度まで開講	1	S							
	50268	論文研究基礎演習	2	TX							
	50227	論文研究基礎	1	S	●	●					
	50232	論文研究特論	1	S	●	●	●	●			
	50269	論文研究Ⅰ-2	1	TX	●	●	●	●	●		
	50270	論文研究Ⅱ-2	1	TX	●	●	●	●	●		
	50228	論文研究Ⅰ-1	1	S	●	●	●	●	●		
	50229	論文研究Ⅱ-1	1	S	●	●	●	●	●		
	50267	論文研究Ⅲ	2	TX							
	50691	卒業研究	8	TX	●	●	●	●	●		

TR：テキストレポート科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目、●：必修科目

科目一覧					卒業要件					配当年次 (注2)
					■新要件		■旧要件			
科目群	科目区分	科目コード	科目名(注1)	単位数	S/T	1年次入学	3年次編入学	1年次入学	3年次編入学	
						124単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門60単位以上)	124単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門60単位以上)	62単位以上 (専門36単位以上)
専門教育科目 コース専門教育科目		52620	歴史遺産学基礎講義	2	TR	●	●	●	●	
		52624	歴史遺産学Ⅰ-1	2	TR	●	●			
			歴史遺産学Ⅰ-2 ※2018年度まで開講	2	TR					
		52626	歴史遺産学Ⅰ-3	2	TR					
			歴史遺産学Ⅰ-4 ※2018年度まで開講	2	TR					
			歴史遺産学Ⅰ-5 ※2018年度まで開講	2	TR					
		52629	歴史遺産学Ⅱ-1	2	TR	●	●	●	●	
			歴史遺産学Ⅱ-2 ※2018年度まで開講	2	TR					
		52631	歴史遺産学Ⅱ-3	2	TR	●	●			
		52632	史料講読応用	2	TR					
		52633	古文書入門 ※2019年度新設	2	TR					
		52120	歴史遺産フィールドワーク1	1	S	いずれか1科目 を選択必修	いずれか1科目 を選択必修			
		52121	歴史遺産フィールドワーク2	1	S					
			歴史遺産学研修1 ※2018年度まで開講	1	S					
			歴史遺産学研修2 ※2018年度まで開講	1	S					
			歴史遺産学研修3 ※2018年度まで開講	1	S					
			歴史遺産学研修4 ※2018年度まで開講	1	S					
		52119	歴史遺産学概論	1	S	●	●	●	●	
			歴史遺産Ⅰ-2 ※2018年度まで開講	2	S					
		52122	歴史遺産Ⅱ-1	1	S	●	●	●	●	
	52123	歴史遺産Ⅱ-2	1	S	●	●				
		歴史遺産Ⅱ-3 ※2018年度まで開講	2	S						
	52124	歴史遺産Ⅱ-4	1	S						
	52125	歴史遺産Ⅲ-1	1	S	いずれか1科目 を選択必修	いずれか1科目 を選択必修	いずれか1科目 を選択必修	いずれか1科目 を選択必修		
	52126	歴史遺産Ⅲ-2	1	S						
	52127	歴史遺産Ⅲ-3	1	S	●	●	いずれか1科目 を選択必修	いずれか1科目 を選択必修		
		歴史遺産Ⅲ-4 ※2018年度まで開講	1	S						
	52128	歴史遺産Ⅲ-5	1	S						
その他	総合教育科目・学部共通専門教育科目・コース専門教育科目・資格関連科目などから自由に選択。									
総合計						124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上	62単位以上

TR：テキストレポート科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目、●：必修科目

(注1) 2018年度まで旧科目名で開講していた科目は、p.19の新旧科目対応表で確認してください。旧科目名で単位修得済の場合、履修することはできません。

(注2) 配当年次：スムーズに履修がなされるための規定であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに科目に別途履修条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

5. 卒業要件、卒業研究着手要件

「卒業要件」とは、卒業するために定められている最低単位数や必修科目のことです。歴史遺産コースの場合は、その必修科目の一つが「卒業研究」です。「卒業研究」に着手するためには、その前年度末までに、いくつかの要件を満たしておかなければなりません。これを「卒業研究着手要件」といいます。

「卒業要件」や「卒業研究着手要件」は入学区分によって、以下のように定められています。自分の希望の年度にこの要件を満たし、「卒業研究」に着手できるよう、また卒業できるよう、p.14以降の履修モデルを参考に、計画的に学習に取り組んでください。

■新要件（2019年度以降入学）

1年次入学（卒業要件124単位以上）

		科目群	修得すべき単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
卒業研究 着手要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	8単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	24単位 以上	T科目： 12単位 以上 S科目： 6単位 以上 「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修
	その他（注1）	58単位以上		
	合計	90単位以上	3年以上在学していること（休学期間を除く）	
卒業要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	12単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	48単位 以上	T科目： 24単位 以上 S科目： 12単位 以上 「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」「卒業研究」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅰ-1」 「歴史遺産学Ⅱ-1」「歴史遺産学Ⅱ-3」必修 「京都の歴史」「文献資料講読」「論文研究基礎」 「論文研究特論」「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修、 「歴史遺産フィールドワーク1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産学概論」「歴史遺産Ⅱ-1」「歴史遺産Ⅱ-2」必修、 「歴史遺産Ⅲ-1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産Ⅲ-3」必修
	その他（注1）	64単位以上		
	合計	124単位以上	S科目30単位以上	

3年次編入学（卒業要件62単位以上、専門60単位以上）

「入学許可証・卒業要件通知」の総合計に「履修免除62単位（うちスクーリング科目6単位）」の記載がある方は以下に該当します。

		科目群	修得すべき単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
卒業研究 着手要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	8単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	24単位 以上	T科目： 12単位 以上 S科目： 6単位 以上 「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修
合計			32単位以上	1年以上在学していること（休学期間を除く）
卒業要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	12単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	48単位 以上	T科目： 24単位 以上 S科目： 12単位 以上 「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」「卒業研究」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅰ-1」 「歴史遺産学Ⅱ-1」「歴史遺産学Ⅱ-3」必修 「京都の歴史」「文献資料講読」「論文研究基礎」 「論文研究特論」「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修、 「歴史遺産フィールドワーク1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産学概論」「歴史遺産Ⅱ-1」「歴史遺産Ⅱ-2」必修、 「歴史遺産Ⅲ-1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産Ⅲ-3」必修
	その他（注1）	2単位以上		
合計			62単位以上	S科目24単位以上

旧要件 (2015~2018年度入学)

1年次入学 (卒業要件124単位以上)

		科目群	修得すべき単位数	備考 (左記のうち、修得すべき科目など)	
卒業研究 着手要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	8単位以上		
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	24単位 以上	T科目： 12単位 以上	「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 (注2)
				S科目： 6単位 以上	「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修 (注2)
	その他 (注1)	58単位以上			
合計		90単位以上	3年以上在学していること (休学期間を除く)		
卒業要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	12単位以上		
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	48単位 以上	T科目： 24単位 以上	「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」「卒業研究」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 (注2)
				S科目： 12単位 以上	「京都の歴史」「論文研究特論」 「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」 「歴史遺産学概論」「歴史遺産Ⅱ-1」必修、 「歴史遺産Ⅲ-1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産Ⅲ-3~4」から1科目選択必修 (注2)
	その他 (注1)	64単位以上			
合計		124単位以上	S科目30単位以上		

3年次編入学 (卒業要件62単位以上、専門60単位以上)

「入学許可証・卒業要件通知」の総合計に「履修免除62単位 (うちスクーリング科目6単位)」の記載がある方は以下に該当します。

		科目群	修得すべき単位数	備考 (左記のうち、修得すべき科目など)	
卒業研究 着手要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	8単位以上		
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	24単位 以上	T科目： 12単位 以上	「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 (注2)
				S科目： 6単位 以上	「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修 (注2)
	合計		32単位以上	1年以上在学していること (休学期間を除く)	
卒業要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	12単位以上		
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	48単位 以上	T科目： 24単位 以上	「京都学入門」「史科学基礎」「史料講読基礎」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」「卒業研究」 「歴史遺産学基礎講義」「歴史遺産学Ⅱ-1」必修 (注2)
				S科目： 12単位 以上	「京都の歴史」「論文研究特論」 「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」 「歴史遺産学概論」「歴史遺産Ⅱ-1」必修、 「歴史遺産Ⅲ-1~2」から1科目選択必修、 「歴史遺産Ⅲ-3~4」から1科目選択必修 (注2)
	その他 (注1)	2単位以上			
合計		62単位以上	S科目24単位以上		

3年次編入学 (卒業要件62単位以上、専門36単位以上)

「入学許可証・卒業要件通知」の総合計に「履修免除62単位 (うちスクーリング科目18単位)」の記載がある方は以下に該当します。

		科目群	修得すべき単位数	備考 (左記のうち、修得すべき科目など)
卒業研究 着手要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	8単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	T科目： 4単位以上	「京都学入門」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」必修 (注2)
			S科目： 6単位以上	「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修 (注2)
	その他 (注1)	10単位以上		
合計		28単位以上	1年以上在学していること (休学期間を除く)	
卒業要件	専門 教育科目	学部共通専門教育科目	12単位以上	
		芸術学科専門教育科目 コース専門教育科目	T科目： 12単位以上	「京都学入門」 「論文研究Ⅰ-2」「論文研究Ⅱ-2」 「卒業研究」必修 (注2)
			S科目： 12単位以上	「論文研究Ⅰ-1」「論文研究Ⅱ-1」必修 (注2)
	その他 (注1)	26単位以上		
合計		62単位以上		

(注1) : 「その他」については、総合教育科目・学部共通専門教育科目・芸術学科専門教育科目・コース専門教育科目・資格関連科目などから自由に選択し合計単位を満たすこと。

(注2) : 以下の科目を修得している場合は、これに替えるものとする。

「論文研究Ⅰ-1~2」: 「論文研究1」(2014年度まで開講)

「論文研究Ⅱ-1~2」: 「論文研究2」(2014年度まで開講)

「史科学基礎」: 「史料演習」(2014年度まで開講)

「京都学入門」: 「歴史遺産基礎講義1」(2018年度まで開講)

「歴史遺産学基礎講義」: 「歴史遺産基礎講義2」(2018年度まで開講)

「歴史遺産基礎講義1」「歴史遺産基礎講義2」: 「京都学」(2014年度まで開講)

「歴史遺産フィールドワーク1」: 「歴史遺産Ⅰ-1(鎌倉文化論)」(2018年度まで開講)

「歴史遺産フィールドワーク2」: 「歴史遺産学研修5(大原)」(2018年度まで開講)

「江戸の歴史」: 「歴史遺産Ⅰ-3(江戸文化論)」(2018年度まで開講)

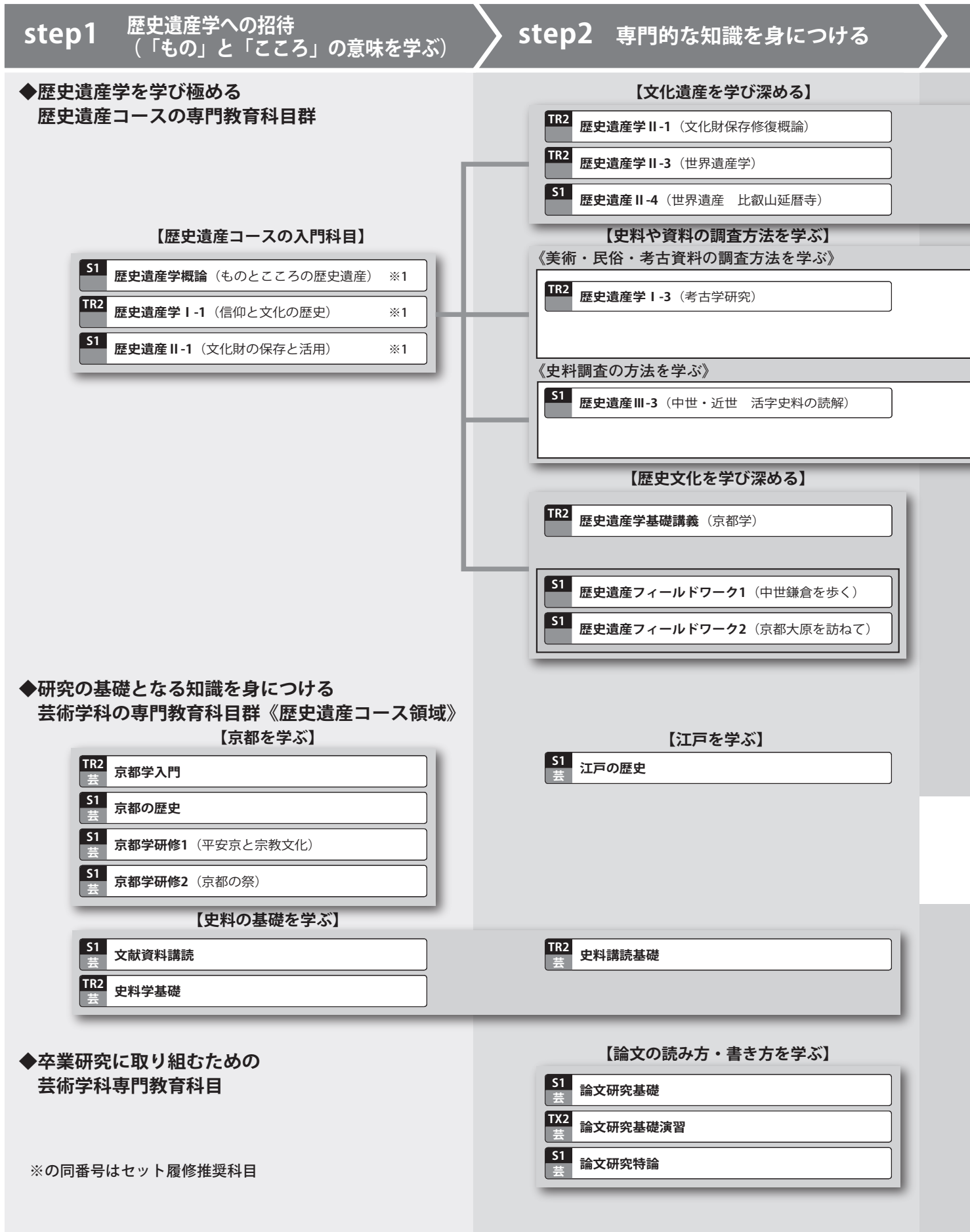
「京都学研修2」: 「歴史遺産学研修6(京都の祭)」(2018年度まで開講)

「論文研究特論」: 「文化史特論」(2018年度まで開講)

※2年次編入学の卒業研究着手要件および卒業要件について、専門教育科目の単位数は3年次編入学(卒業要件62単位・専門60単位以上)と同じ。ただし、着手要件については合計が50単位以上、かつ2年以上在学していること(休学期間を除く)。卒業要件は合計84単位以上であること。

6. カリキュラムマップ

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系的な俯瞰できる図です。履修計画の参考にしてください。



step3 研究方法を深化させる

step4 研究の完成をめざす

S1 歴史遺産Ⅱ-2 (文化財と保存修理)

S1 歴史遺産Ⅲ-1 (美術品の調査方法)

S1 歴史遺産Ⅲ-2 (民俗文化の調査方法)

TR2 史料講読応用 (返り点のない活字史料の読解)

TR2 古文書入門 (文献史料に慣れ親しむ)

S1 歴史遺産Ⅲ-5 (くずし字史料の読解)

「もの」と「ところ」の意義を理解し、
資料調査の手法を習得したうえで、自
ら取り組む卒業研究のテーマを決定
する

【卒業研究のテーマを絞り込む】

S1 芸 論文研究Ⅰ-1

TX1 芸 論文研究Ⅰ-2

S1 芸 論文研究Ⅱ-1

TX1 芸 論文研究Ⅱ-2

TX2 芸 論文研究Ⅲ

※履修上、必要な学生のみ

TX8 芸 卒業研究

7. 芸術学科専門教育科目 スクーリング日程

○同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

配当年次	科目名	スクーリングコード	スクーリング名称	単位	会場	日程	開講期	
1年次～	芸術学概論	5010101001	芸術学概論T1	1	東京■	6/15(土)～6/16(日)	春期	
		5010101002	芸術学概論E1	1	遠隔	6/15(土)～6/16(日)	春期	
		5010101003	芸術学概論K1	1	京都	7/6(土)～7/7(日)	夏期	
	日本美術論	5010101004	芸術学概論E2	1	遠隔	7/6(土)～7/7(日)	夏期	
		5010201001	日本美術論E1	1	遠隔	11/23(土)～11/24(日)	秋期	
	西洋美術論	5010201002	日本美術論E2	1	遠隔	12/21(土)～12/22(日)	秋期	
		5010301001	西洋美術論K1	1	京都	8/31(土)～9/1(日)	夏期	
	アジア美術論	5010301001	西洋美術論E1	1	遠隔	8/31(土)～9/1(日)	夏期	
		5010301002	西洋美術論E2	1	遠隔	11/2(土)～11/3(日)	秋期	
	美術史学概論	5010401001	アジア美術論E1	1	遠隔	5/11(土)～5/12(日)	春期	
		5010401002	アジア美術論E2	1	遠隔	11/16(土)～11/17(日)	秋期	
		5010501001	美術史学概論K1	1	京都	6/1(土)～6/2(日)	春期	
		5010501002	美術史学概論E1	1	遠隔	6/1(土)～6/2(日)	春期	
	音楽文化論	5010501003	美術史学概論T1	1	東京■	7/13(土)～7/14(日)	夏期	
		5010501004	美術史学概論E2	1	遠隔	7/13(土)～7/14(日)	夏期	
	京都の歴史	5010601001	音楽文化論E1	1	遠隔	8/17(土)～8/18(日)	夏期	
		5010601002	音楽文化論E2	1	遠隔	9/14(土)～9/15(日)	夏期	
	文献資料講読	5010701001	京都の歴史E1	1	遠隔	6/30(日)	春期	
		5010701002	京都の歴史E2	1	遠隔	8/31(土)	夏期	
	京都学研修1	5010801001	文献資料講読E1	1	遠隔	5/26(日)	春期	
		5010801002	文献資料講読E2	1	遠隔	10/5(土)	秋期	
	京都学研修2	5010901001	京都学研修1EK1	1	遠隔+京都	11/2(土)	秋期	
		5010901002	京都学研修1EK2	1	遠隔+京都	11/3(日)	秋期	
	江戸の歴史	5011001001	京都学研修2EK1	1	遠隔+京都	4/21(日)	春期	
		5011001002	京都学研修2E1	1	遠隔+京都	10/6(日)	秋期	
	伝統芸能の諸相	5011101001	江戸の歴史T1	1	東京■	9/14(土)～9/15(日)	夏期	
		5011101002	江戸の歴史E1	1	遠隔	9/14(土)～9/15(日)	夏期	
	伝統芸能と工芸	5021901001	伝統芸能の諸相E1	1	遠隔	6/1(土)～6/2(日)	春期	
		5021901002	伝統芸能の諸相E2	1	遠隔	10/19(土)～10/20(日)	秋期	
	詩歌と日本文化	5022001001	伝統芸能と工芸E1	1	遠隔	8/24(土)～8/25(日)	夏期	
		5022001002	伝統芸能と工芸E2	1	遠隔	9/7(土)～9/8(日)	夏期	
	花道文化の展開	5022201001	詩歌と日本文化E1	1	遠隔	4/27(土)～4/28(日)	春期	
		5022201002	詩歌と日本文化E2	1	遠隔	12/7(土)～12/8(日)	秋期	
	伝統文化の空間	5022301001	花道文化の展開E1	1	遠隔	12/21(土)～12/22(日)	秋期	
		5022401001	伝統文化の空間E1	1	遠隔	6/15(土)～6/16(日)	春期	
	室礼ともてなし	5022401002	伝統文化の空間K1	1	京都	10/26(土)～10/27(日)	秋期	
		5022501001	室礼ともてなしE1	1	遠隔	6/29(土)～6/30(日)	春期	
	アカデミックスキル入門	5022501002	室礼ともてなしE2	1	遠隔	9/14(土)～9/15(日)	夏期	
		5023301001	アカデミックスキル入門E1	1	遠隔	4/21(日)	春期	
		5023301002	アカデミックスキル入門E2	1	遠隔	5/12(日)	春期	
		5023301003	アカデミックスキル入門E3	1	遠隔	6/9(日)	春期	
		5023301004	アカデミックスキル入門E4	1	遠隔	6/16(日)	春期	
		5023301005	アカデミックスキル入門E5	1	遠隔	6/30(日)	春期	
		5023301006	アカデミックスキル入門E6	1	遠隔	7/7(日)	夏期	
	2年次～	論文研究基礎	5022701001	論文研究基礎ET1	1	遠隔+東京■	6/1(土)	春期
			5022701002	論文研究基礎ET2	1	遠隔+東京■	6/2(日)	春期
			5022701003	論文研究基礎EK1	1	遠隔+京都	7/6(土)	夏期
			5022701004	論文研究基礎EK2	1	遠隔+京都	7/7(日)	夏期
			5022701005	論文研究基礎E2	1	遠隔	9/7(土)	夏期
			5022701006	論文研究基礎E3	1	遠隔	9/8(日)	夏期
5022701007			論文研究基礎ET3	1	遠隔+東京■	12/21(土)	秋期	
5022701008			論文研究基礎ET4	1	遠隔+東京■	12/22(日)	秋期	
5022701009			論文研究基礎E4	1	遠隔	2025/2/15(土)	冬期	
5022801001			論文研究I-1(芸/卒研は京都)	1	遠隔	7/20(土)～7/21(日)	夏期	
3年次～	論文研究I-1(芸歴和)	5022801002	論文研究I-1(歴/卒研は京都)	1	遠隔	7/20(土)～7/21(日)	夏期	
		5022801003	論文研究I-1(和/卒研は京都)	1	遠隔	7/20(土)～7/21(日)	夏期	
		5022801004	論文研究I-1(芸/卒研は東京)	1	遠隔	7/27(土)～7/28(日)	夏期	
		5022801005	論文研究I-1(歴/卒研は東京)	1	遠隔	7/27(土)～7/28(日)	夏期	
		5022801006	論文研究I-1(和/卒研は東京)	1	遠隔	7/27(土)～7/28(日)	夏期	
		5022901001	論文研究II-1(芸歴和)a【美芸/卒研は京都】	1	遠隔	11/23(土)～11/24(日)	秋期	
論文研究II-1(芸歴和)	5022901002	論文研究II-1(芸歴和)b【歴伝/卒研は京都】	1	遠隔	11/30(土)～12/1(日)	秋期		
	5022901003	論文研究II-1(芸歴和)c【美芸/卒研は東京】	1	遠隔	11/30(土)～12/1(日)	秋期		
	5022901004	論文研究II-1(芸歴和)d【歴伝/卒研は東京】	1	遠隔	11/23(土)～11/24(日)	秋期		
	5023201001	論文研究特論E1	1	遠隔	9/14(土)～9/15(日)	夏期		
論文研究特論	5023201002	論文研究特論E2	1	遠隔	10/26(土)～10/27(日)	秋期		
	4年次	卒業研究(芸歴和)	50691	卒業研究(芸歴和)面接指導①a【美芸/京都】	1	京都	5/18(土)	—
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導①b【歴伝/京都】	1	京都	5/19(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導①c【美芸/東京】	1	東京■	5/19(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導①d【歴伝/東京】	1	東京■	5/18(土)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導②a【美芸/京都】	1	京都	8/17(土)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導②b【歴伝/京都】	1	京都	8/18(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導②c【美芸/東京】	1	東京■	8/18(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)面接指導②d【歴伝/東京】	1	東京■	8/17(土)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)口頭試問a【美芸/京都】	1	京都	2025/1/18(土)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)口頭試問b【歴伝/京都】	1	京都	2025/1/19(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)口頭試問c【美芸/東京】	1	東京■	2025/1/19(日)	—	
50691			卒業研究(芸歴和)口頭試問d【歴伝/東京】	1	東京■	2025/1/18(土)	—	

- ・各申込スケジュールはairU学習ガイドを確認してください。
- ・「会場」欄の「遠隔+京都」、「遠隔+東京」の日程は、web学習(事前課題)に加え、対面授業への参加が必須です。詳細は各シラバス参照。
- ・4年次科目は「卒業研究」(TX科目)に伴う対面授業(遠隔希望可)のため「スクーリング日程」に含めています。指定された会場・日時に出席する必要があります。

8. 歴史遺産コース専門教育科目 スクーリング日程

配当年度	科目名	スクーリングコード	スクーリング名称	単位	会場	日程	開講期
1年次～	歴史遺産学概論	5211901001	歴史遺産学概論 (ものところの歴史遺産) K1	1	京都	5/11(土)～5/12(日)	春期
		5211901002	歴史遺産学概論 (ものところの歴史遺産) E1	1	遠隔	5/11(土)～5/12(日)	春期
		5211901003	歴史遺産学概論 (ものところの歴史遺産) E2	1	遠隔	6/15(土)～6/16(日)	春期
	歴史遺産 フィールドワーク1	5212001001	歴史遺産フィールドワーク1 (中世鎌倉を歩く) ET1【初日Zoom】	1	遠隔+学外■	10/13(日)・10/19(土)	秋期
		5212001002	歴史遺産フィールドワーク1 (中世鎌倉を歩く) ET2【初日Zoom】	1	遠隔+学外■	10/13(日)・10/20(日)	秋期
		5212001003	歴史遺産フィールドワーク1 (中世鎌倉を歩く) E1	1	遠隔	10/13(日)	秋期
	歴史遺産 フィールドワーク2	5212101001	歴史遺産フィールドワーク2 (京都大原を訪ねて) EK1	1	遠隔+学外■	9/7(土)	夏期
		5212101002	歴史遺産フィールドワーク2 (京都大原を訪ねて) EK2	1	遠隔+学外■	9/8(日)	夏期
		5212101003	歴史遺産フィールドワーク2 (京都大原を訪ねて) E1	1	遠隔	11/9(土)	秋期
	歴史遺産Ⅱ-1	5212201001	歴史遺産Ⅱ-1 (文化財の保存と活用) E1	1	遠隔	6/29(土)	春期
		5212201002	歴史遺産Ⅱ-1 (文化財の保存と活用) EK1	1	遠隔+京都	10/5(土)	秋期
		5212201003	歴史遺産Ⅱ-1 (文化財の保存と活用) E2	1	遠隔	10/5(土)	秋期
	歴史遺産Ⅱ-2	5212301001	歴史遺産Ⅱ-2 (文化財と保存修理) ET1	1	遠隔+東京■	11/9(土)～11/10(日)	秋期
		5212301002	歴史遺産Ⅱ-2 (文化財と保存修理) K1	1	京都	12/14(土)～12/15(日)	秋期
		5212301003	歴史遺産Ⅱ-2 (文化財と保存修理) E1	1	遠隔	12/14(土)～12/15(日)	秋期
	歴史遺産Ⅱ-4	5212401001	歴史遺産Ⅱ-4 (世界遺産 比叡山延暦寺) K1	1	学外■	6/9(日)～6/10(月)	春季
	歴史遺産Ⅲ-1	5212501001	歴史遺産Ⅲ-1 (美術品の調査方法) T1	1	東京■	6/22(土)～6/23(日)	春期
		5212501002	歴史遺産Ⅲ-1 (美術品の調査方法) K1	1	京都	10/26(土)～10/27(日)	秋期
	歴史遺産Ⅲ-2	5212601001	歴史遺産Ⅲ-2 (民俗文化の調査方法) K1	1	京都	9/21(土)～9/22(日)	夏期
		5212601002	歴史遺産Ⅲ-2 (民俗文化の調査方法) T1	1	東京■	9/28(土)～9/29(日)	夏期
		5212601003	歴史遺産Ⅲ-2 (民俗文化の調査方法) E1	1	遠隔	9/28(土)～9/29(日)	夏期
	歴史遺産Ⅲ-3	5212701001	歴史遺産Ⅲ-3 (中世-近世 活字史料の読解) EK1	1	遠隔+京都	10/12(土)	秋期
		5212701002	歴史遺産Ⅲ-3 (中世-近世 活字史料の読解) EK2	1	遠隔+京都	10/13(日)	秋期
		5212701003	歴史遺産Ⅲ-3 (中世-近世 活字史料の読解) T1	1	東京■	12/14(土)	秋期
		5212701004	歴史遺産Ⅲ-3 (中世-近世 活字史料の読解) E2	1	遠隔	12/15(日)	秋期
	歴史遺産Ⅲ-5	5212801001	歴史遺産Ⅲ-5 (くずし字史料の読解) K1	1	京都	2025/1/11(土)～ 1/12(日)	冬期
5212801002		歴史遺産Ⅲ-5 (くずし字史料の読解) ET1	1	遠隔+東京■	2025/1/26(土)	冬期	

・各申込スケジュールはairU学習ガイドを確認してください。申込締切日の13:00まで。

9. 履修モデル

1) 1年次入学生年間履修モデル

これは、1年次入学生（卒業要件124単位以上）が4年間で卒業すると仮定した場合の年間学習モデルです。

この年間学習モデルは、「卒業研究」に集中できるよう高年次になるに従い修得単位数が少なくなるように立ててあります。

学習計画を立てる際は、卒業要件と各科目の開講状況・履修条件等を確認してください。卒業要件については本『コースガイド』pp.7～9を、各科目の開講状況・履修条件等についてはシラバスの各科目のページを確認してください。

また、2年目以降のスクーリング開講日は受講年度の各シラバスを確認してください。

- (注1)： TR=テキストレポート科目 TX=テキスト特別科目 S=スクーリング科目 WS=ウェブスクーリング科目(スクーリングの単位数に含まず)
 (注2)： □新：2019年度以降入学生 ■旧：2015～2018年度入学生
 ●=必修科目(必ず単位を修得することが求められる科目)
 ○=選択必修科目(特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目を選択して必ず単位を修得することが求められる科目)
 空白=選択科目(修得するかしないかを含め自由に選択できる科目。ただし卒業要件で定められた修得すべき単位数を最低限選択することが必要(例えば総合計124単位以上を修得すること等))

1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	□新	■旧	春期			夏期			秋期			冬期		
				必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
	論述基礎	2	TR									レポート		試験			
	古典日本語	2	TR									レポート		試験			
	社会学	2	TR									レポート		試験			
	はじめての共通科目	1	S			初回提出	中間講評	最終提出									
	身体と表現	2	S									初回提出	中間講評	最終提出			
	数と世界	2	S												初回提出	中間講評	最終提出
	日本史への階段	1	S				2日間										
学部共通専門教育科目	芸術理論	2	TR												レポート		試験
	芸術史講義(日本)1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴									
	芸術史講義(日本)2	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴						
学科専門教育科目	日本文化と東アジア	2	TR												レポート		試験
	京都学入門	2	TR	●	●				レポート		試験						
	史科学基礎	2	TR	●	●							レポート		試験			
	史料講読基礎	2	TR	●	●										レポート		試験
	アカデミックスキル入門	1	S	●※	●※				2日間								
	京都学研修1	1	S										2日間				
コース専門教育科目	歴史遺産学基礎講義	2	TR	●	●							レポート		試験			
	歴史遺産学 I-1	2	TR	●					レポート		試験						
	歴史遺産学概論	1	S	●	●		2日間										
	歴史遺産 II-1	1	S	●	●							2日間					
1年目の修得単位数		35															

※2024/4/15修正：学科専門教育科目「アカデミックスキル入門」は必修科目ではありません。

2年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	□新	■旧	春期			夏期			秋期			冬期		
				必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	学際的な知への案内	2	TR			レポート		試験									
	日本史	2	TR								レポート		試験				
	地域を探る	2	TR											レポート		試験	
	伝統芸術基礎 (茶の湯)	1	S								2日間						
	民族学への階段	1	S						2日間								
学部共通専門教育科目	芸術理論2	2	TR			レポート		試験									
	芸術史講義 (日本)3	2	WS			動画 視聴	レポート	講評 視聴									
	芸術史講義 (日本)4	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴							
	芸術史講義 (アジア)1	2	WS								動画 視聴	レポート	講評 視聴				
	芸術史講義 (アジア) 2	2	WS					2日間									
学科専門教育科目	美術史学基礎	2	TR			レポート		試験									
	日本文化の源流	2	TR											レポート		試験	
	論文研究基礎演習	2	TX					レポート									
	日本美術論	1	S								2日間						
	京都の歴史	1	S	●	●			2日間									
	文献資料講読	1	S	●				2日間									
	論文研究基礎	1	S	●				2日間									
コース専門教育科目	歴史遺産学 I-3	2	TR					レポート		試験							
	歴史遺産学 II-1	2	TR	●	●									レポート		試験	
	史料講読応用	2	TR								レポート		試験				
	歴史遺産 II-2	1	S	●								2日間					
	歴史遺産 III-1	1	S	○	○						2日間						
	歴史遺産 III-3	1	S	●	○						2日間						
2年目の修得単位数		37															

2024/4/16修正：学科専門教育科目「京都の歴史」を必修科目指定しました。

3年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	□新 必修 選択 (注2)	■旧 必修 選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	文化研究1	2	TR			レポート		試験									
	宗教学	2	TR											レポート		試験	
	列島考古学	2	TR					レポート		試験							
	京都を学ぶ	2	TR								レポート		試験				
	文学研究への階段	1	S					2日間									
学部共通専門教育科目	美学概論	2	TR			レポート		試験									
	写真論1	2	TR											レポート		試験	
	芸術史講義 (アジア)3	2	WS			動画 視聴	レポート	講評 視聴									
	芸術史講義 (アジア)4	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴							
学科専門教育科目	日本の生活文化	2	TR			レポート		試験									
	地域芸術理論	2	TR											レポート		試験	
	江戸の歴史	1	S							2日間							
	日本の古典を読む	1	S											2日間			
	論文研究特論	1	S	●	●						2日間						
	論文研究 I-1	1	S	●	●			2日間									
	論文研究 I-2	1	TX	●	●					レポート							
	論文研究 II-1	1	S	●	●								2日間				
	論文研究 II-2	1	TX	●	●									レポート			
コース専門教育科目	歴史遺産学 II-3	2	TR	●				レポート		試験							
	古文書入門	2	TR								レポート		試験				
	歴史遺産フィールドワーク1	1	S	○							2日間						
	歴史遺産 II-4	1	S								2日間						
	歴史遺産 III-5	1	S											2日間			
3年目の修得単位数		35															

4年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	□新 必修 選択 (注2)	■旧 必修 選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学部共通 専門教育科目	芸術史講義 (近現代)1	2	WS			動画 視聴	レポート	講評 視聴								卒業研究着手者は 冬期に卒業関連科目 以外の履修がで きません。	
	芸術史講義 (近現代)2	2	WS						動画 視聴	レポート	講評 視聴						
学科専門 教育科目	芸術学基礎	2	TR			レポート		試験									
	伝統文化の空間	1	S								2日間						
	卒業研究	8	TX	●	●	レポート	面接 指導①	レポート		面接 指導②		レポート	卒業成果 物提出	口頭 試問			
コース専門 教育科目	歴史遺産フィールドワーク2	1	S	○							2日間				卒業研究着手者は 冬期に卒業関連科目 以外の履修がで きません。		
	歴史遺産 III-2	1	S	○	○						2日間						
4年目の修得単位数		17															

4年間の合計	124単位 (うち S47単位)	総合教育科目：30単位	学科専門教育科目：42単位 (うちS12単位)
		学部共通専門教育科目：28単位	コース専門教育科目：24単位 (うちS10単位)

2) 3年次編入学生年間履修モデル

これは、3年次編入学生（①卒業要件62単位以上・専門60単位以上）および（②卒業要件62単位以上・専門36単位以上）が2年間で卒業すると仮定した場合の年間学習モデルです。

この年間学習モデルは、「卒業研究」に集中できるよう高年次になるに従い修得単位数が少なくなるように立ててあります。

学習計画を立てる際は、卒業要件と各科目の開講状況・履修条件等を確認してください。卒業要件については本『コースガイド』pp.7～9を、各科目の開講状況・履修条件等についてはシラバスの各科目のページを確認してください。

また、2年目のスクーリング開講日は受講年度の各シラバスを確認してください。

(注1) : TR=テキストレポート科目 TX=テキスト特別科目 S=スクーリング科目 WS=Webスクーリング科目〈スクーリングの単位数に含みます〉

(注2) : □新:2019年度以降入学生 ■旧:2015～2018年度入学生

●=必修科目〈必ず単位を修得することが求められる科目〉

○=選択必修科目〈特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目を選択して必ず単位を修得することが求められる科目〉

空白=選択科目〈修得するかしないかを含め自由に選択できる科目。ただし卒業要件で定められた修得すべき単位数を最低限選択することが必要（例えば総合計62単位以上を修得すること等）〉

		1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	新	旧①	旧②	春期			夏期			秋期			冬期			
				必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
専門学 部共通 科目	芸術理論1	2	TR								レポート		試験						
	芸術理論2	2	TR														レポート		試験
	芸術史講義(日本)1	2	WS				動画 視聴	レポート	講評 視聴										
	芸術史講義(日本)2	2	WS							動画 視聴	レポート	講評 視聴							
学科 専門 教育 科目	京都学入門	2	TR	●	●	●	レポート		試験										
	史科学基礎	2	TR	●	●					レポート		試験							
	史料講読基礎	2	TR	●	●								レポート		試験				
	京都の歴史	1	S	●	●					2日間									
	文献資料講読	1	S	●					2日間										
	論文研究基礎	1	S	●									2日間						
	京都学研修1	1	S											2日間					
	論文研究 I-1	1	S	●	●	●				2日間									
	論文研究 I-2	1	TX	●	●	●						レポート							
	論文研究 II-1	1	S	●	●	●									2日間				
	論文研究 II-2	1	TX	●	●	●											レポート		
コース 専門 教育 科目	歴史遺産学基礎講義	2	TR	●	●							レポート		試験					
	歴史遺産学 I-1	2	TR	●					レポート		試験								
	歴史遺産学 II-1	2	TR	●	●										レポート		試験		
	古文書入門	2	TR									レポート		試験					
	歴史遺産学概論	1	S	●	●			2日間											
	歴史遺産 フィールドワーク1	1	S	○								2日間							
	歴史遺産 II-1	1	S	●	●				2日間										
	歴史遺産 III-1	1	S	○	○							2日間							
	歴史遺産 III-3	1	S	●	○							2日間							
	歴史遺産 III-5	1	S														2日間		
1年目の修得単位数	36	※翌年度、卒業研究に着手するためには、卒業研究着手要件を満たす必要があります。																	

2年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	□新	■旧①	■旧②	春期			夏期			秋期			冬期		
				必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学部共通専門 教育科目	芸術史講義(日本)3	2	WS				動画 視聴	レポート	講評 視聴									
	芸術史講義(日本)4	2	WS						動画 視聴	レポート	講評 視聴							
学科専門教育科目	美術史学基礎	2	TR				レポート		試験									卒業研究着手者は冬 期に卒業関連科目以 外の履修ができません。
	京都学研修2	1	S				2日間											
	江戸の歴史	1	S								2日間							
	論文研究特論	1	S	●	●						2日間							
	卒業研究	8	TX	●	●	●	レポート	面接 指導①	レポート②		面接 指導②		レポート③	卒業成果 物提出	口頭 試問			
コース専門教育科目	歴史遺産学Ⅰ-3	2	TR									レポート	試験				卒業研究着手者は冬 期に卒業関連科目以 外の履修ができません。	
	歴史遺産学Ⅱ-3	2	TR	●					レポート		試験							
	史料講読応用	2	TR				レポート		試験									
	歴史遺産 フィールドワーク2	1	S	○							2日間							
	歴史遺産Ⅱ-2	1	S	●	●	※								2日間				
	歴史遺産Ⅱ-4	1	S									2日間						
2年目の修得単位数		26																

2年間の合計	62単位 (うち S26単 位)	総合教育科目：0単位	学科専門教育科目：27単位(うちS9単位)
		学部共通専門教育科目：12単位	コース専門教育科目：23単位(うちS9単位)

※2024/4/16修正：コース専門教育科目「歴史遺産Ⅱ-2」は旧課程において必修科目ではありません。

10. 新旧科目対応表

下表の「旧科目名」で単位修得済の科目は、「新科目名」で再度履修することはできません。

■芸術学科専門教育科目

2018年度まで			
旧科目コード	旧科目名	ST	単位数
51618	芸術学演習 I-1 (芸術学基礎演習)	TX	2
52622	歴史遺産基礎講義1	TR	2
52106	歴史遺産学研修6 (京都の祭)	S	1
52109	歴史遺産 I-3 (江戸文化論)	S	2
53104	文芸 I-3 (世界の古典)	S	2
53107	文芸 II-2 (短歌・俳句・近現代詩)	S	2
53111	文芸 III-2 (インタビューと調査で書く・ネットメディアに書く)	S	1
53114	文芸 III-5 (文芸の京都)	S	1
50215	文化史特論	S	2

2014年度まで			
旧科目コード	旧科目名	ST	単位数
50011	芸術学概論	S	2
50010	歴史遺産学概論	S	2
52027	歴史文化論1	S	2
52032	歴史文化論6	S	2
52605	史料演習	T	4
52609	文献講読1 (京都学史料)	T	4
50061	文芸研究1	S	2
50071	伝統文化研究 I-1	S	1
50072	伝統文化研究 I-2	S	1
50073	伝統文化研究 I-3	S	1
50074	伝統文化研究 I-4	S	1
50075	伝統文化研究 II-1	S	1
50076	伝統文化研究 II-2	S	1
50077	伝統文化研究 II-3	S	1
50078	伝統文化研究 II-4	S	1
52621	論文研究4	T	2

■歴史遺産コース専門教育科目

2018年度まで			
旧科目コード	旧科目名	ST	単位数
52623	歴史遺産基礎講義2	TR	2
52107	歴史遺産 I-1 (鎌倉文化論)	S	2
52105	歴史遺産学研修5 (大原)	S	1

2014年度まで			
旧科目コード	旧科目名	ST	単位数
50608	京都学	T	4
50051	京都学フィールドワーク1	S	1
50052	京都学フィールドワーク2	S	1
50053	京都学フィールドワーク3	S	1
50054	京都学フィールドワーク4	S	1
50056	京都学フィールドワーク6	S	1
50058	京都学フィールドワーク8	S	1
52029	歴史文化論3	S	2
52065	歴史文化論9	S	2
52030	歴史文化論4	S	2
52614	宗教文化史	T	4
52615	考古学研究	T	2
52616	民俗学研究	T	2
50607	東北学	T	4
52035	文化遺産学1	S	2
52036	文化遺産学2	S	2
52037	文化遺産学3	S	2
52038	文化遺産学4	S	2
52606	歴史遺産学演習1	T	4
52611	歴史遺産学演習4	T	4
52608	歴史遺産学演習3	T	4
52051	資料調査方法論1	S	1
52052	資料調査方法論2	S	1
52002	古文書研究2	S	2
52023	論文研究基礎	S	1
51394	論文研究1	ST	2
51395	論文研究2	ST	2

2019年度から			
新科目コード	新科目名	ST	単位数
50251	芸術学基礎	TR	2
50254	京都学入門	TR	2
50110	京都学研修2	S	1
50111	江戸の歴史	S	1
50113	世界の古典を読む	S	1
50116	短歌と俳句	S	1
50117	インタビューと取材の方法論	S	1
50115	京都の文芸	S	1
50232	論文研究特論	S	1

2015年度から			
新科目コード	新科目名	ST	単位数
50202	芸術学概論	S	2
50213	歴史遺産学概論	S	2
50214	京都の歴史	S	2
50215	文化史特論	S	2
50261	史料学基礎	TR	2
50262	史料講読基礎	TR	2
50263	史料講読応用	TR	2
50217	日本の古典を読む	S	2
50219	伝統芸能の諸相	S	1
50220	伝統芸能と工芸	S	1
50221	絵画と日本文化	S	1
50222	詩歌と日本文化	S	1
50223	花道文化の展開	S	1
50224	伝統文化の空間	S	1
50225	室礼ともてなし	S	1
50226	茶道文化の展開	S	1
50267	論文研究Ⅲ	TX	2

2019年度から			
新科目コード	新科目名	ST	単位数
52620	歴史遺産学基礎講義	TR	2
52120	歴史遺産フィールドワーク1	S	1
52121	歴史遺産フィールドワーク2	S	1

2015年度から			
新科目コード	新科目名	ST	単位数
52622	歴史遺産基礎講義1	TR	2
52623	歴史遺産基礎講義2	TR	2
52101	歴史遺産学研修1	S	1
52102	歴史遺産学研修2	S	1
52103	歴史遺産学研修3	S	1
52104	歴史遺産学研修4	S	1
52105	歴史遺産学研修5	S	1
52106	歴史遺産学研修6	S	1
52107	歴史遺産 I-1	S	2
52108	歴史遺産 I-2	S	2
52109	歴史遺産 I-3	S	2
52624	歴史遺産学 I-1	TR	2
52625	歴史遺産学 I-2	TR	2
52626	歴史遺産学 I-3	TR	2
52627	歴史遺産学 I-4	TR	2
52628	歴史遺産学 I-5	TR	2
52110	歴史遺産 II-1	S	2
52111	歴史遺産 II-2	S	2
52112	歴史遺産 II-3	S	2
52113	歴史遺産 II-4	S	2
52629	歴史遺産学 II-1	TR	2
52630	歴史遺産学 II-2	TR	2
52631	歴史遺産学 II-3	TR	2
52114	歴史遺産 III-1	S	1
52115	歴史遺産 III-2	S	1
52118	歴史遺産 III-5	S	2
50227	論文研究基礎	S	1
50228	論文研究 I-1	S	1
50269	論文研究 I-2	TX	1
50229	論文研究 II-1	S	1
50270	論文研究 II-2	TX	1

11. 論文研究・卒業研究

「論文研究Ⅰ-1~2」「論文研究Ⅱ-1~2」(3年次~)、「卒業研究」(4年次)は、各々が自身のテーマを決めて学習の集大成にあたる卒業成果物をまとめあげるための科目です。まずは以下を確認し、各科目の詳細は、該当科目のシラバスを参照してください。

(1年目)	4月	5月	6月	7月	8月
論文研究		「論文研究Ⅰ-1」 スクーリング受講 申込	「論文研究Ⅰ-1」 ・発表資料提出	「論文研究Ⅰ-1」 ・スクーリング受講	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「論文研究Ⅰ-1」スクーリング申込までに… まず、シラバスをよく確認しましょう。そして、テキスト『論文の読み方・書き方』pp.T-3~16をよく読み、研究テーマの設定と史(資)料収集をしましょう。</p> </div>					
(2年目)	4月	5月	6月	7月	8月
卒業研究	レポート①提出	面接指導①	レポート②提出		面接指導②

STEP 1 履修の前提条件を確認しましょう。

「論文研究Ⅰ-1~2」「論文研究Ⅱ-1~2」「卒業研究」は、履修の前提条件が設定されています。各科目のシラバスの「履修の前提条件」、『コースガイド』の「卒業要件」「卒業研究着手要件」を確認し、計画的に学習を進めていきましょう。

なお、「論文研究Ⅰ-1~2」「論文研究Ⅱ-1~2」と「卒業研究」は、2年間で連続して受講することが望ましく、また、3年次編入学生が2年間で卒業を目指す場合は、1年目に「論文研究Ⅰ-1~2」「論文研究Ⅱ-1~2」を修得する必要があります。

STEP 2 研究を始めるための基礎を学びましょう。

「論文研究基礎」(芸術学科専門教育科目/スクーリング科目)

3年次必修科目「論文研究Ⅰ-1~2」「論文研究Ⅱ-1~2」を受講するために必要な基礎知識、学習のしかた、テーマ探しのヒント、論文をまとめる心構えなどを学びます。3年次編入学生が2年間で卒業を目指す場合は「論文研究Ⅰ-1」を受講する前に、本科目を受講されることをお勧めします。

「論文研究基礎演習」(芸術学科専門教育科目/テキスト科目)

すでに書かれた著作や本、論文をどのように使いこなし、分析していくのか、論文を書くための基礎的、実践的な学習をおこないます。

「論文研究特論」(芸術学科専門教育科目/スクーリング科目)

論文を仕上げていく上での史(資)料の使い方、論証の方法などを、具体的な事例を基に知ることができます。文化史研究の新知見を得るばかりでなく、研究の醍醐味を実感でき卒業研究を深めていく上で参考になります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月
「論文研究Ⅰ-2」 課題提出		「卒業研究」に着手するためには、卒業年度の前年度末までに「卒業研究着手要件」を満たす必要があります。今一度、履修状況を確認しましょう。			
「論文研究Ⅱ-1」 スクーリング受講申込 ※追加募集期間に申込		「論文研究Ⅱ-1」 発表資料提出	← 「論文研究Ⅱ-1」 スクーリング受講 →	「論文研究Ⅱ-2」 課題提出	卒業研究レポート① の執筆にとりかかる
9月	10月	11月	12月	1月	2月
	レポート③提出		最終成果物・ 要約データ提出	口頭試問	

STEP 3 テーマを決定し研究を進めましょう。

「論文研究Ⅰ-1～2」「論文研究Ⅱ-1～2」は、卒業年次の前年度に受講する科目です。受講にあたっては、「自分自身の研究テーマで、オリジナルな成果物を書く（自分で課題を見出し、解決の方策を探り、成果物を書き上げる）」という能動的な学習意識が必要です。

「論文研究Ⅰ-1～2」「論文研究Ⅱ-1～2」では、①スクーリング科目で研究の不安や迷いを解消、②テキスト科目でスクーリングの指導をふまえて課題を作成という流れで学習を進めます。

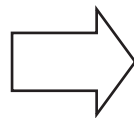
スクーリング科目

- ① 「論文研究Ⅰ-1」(7月)
- ③ 「論文研究Ⅱ-1」(11～12月)

テキスト科目

- ② 「論文研究Ⅰ-2」(9月提出)
- ④ 「論文研究Ⅱ-2」(1月提出)

教員と顔をあわせて相談し、他者の意見を聞くことで、不安や迷いを解消し、自分の研究を客観的に見つめ直し、テーマと研究方法を明確にします。



スクーリングで顕在化した課題に対して自宅で学習を進め、課題を作成します。提出された課題に教員が添削を加えて、次のステップへと導きます。

◆ 「論文研究Ⅰ-1～2」「論文研究Ⅱ-1～2」の翌年度に「卒業研究」に着手できない場合

「論文研究Ⅱ-1～2」に合格したにもかかわらず、その他の「卒業研究着手要件」が満たせなかったり、何らかの事由で「卒業研究」の着手を辞退(延期)する場合も、「卒業研究」に向かうための研究は必ず進めておきましょう。「論文研究Ⅱ-1～2」の翌年度に「卒業研究」に着手できなかった方を対象に、「卒業研究」を履修する前年度に研究の進捗状況を報告し、「卒業研究」の準備にあたる課題を作成する、テキスト科目「論文研究Ⅲ」という授業を開講しています。該当する皆さんは、ぜひ履修することをおすすめします。

12. 過去の「卒業成果物」閲覧申込

論文研究・卒業研究の学習を進めるにあたり、過去の卒業成果物を参考にしたい場合は芸術学科在学生でしたら本文全文の閲覧が可能です（2013年度以降のものに限る）。大学に保管が無いものや執筆者が「閲覧不可」としている論文もありますので、閲覧を希望される場合は下記の手順に従い、申し込みを行ってください。

閲覧申込の手順

(1)卒業成果物を探す

過去の卒業成果物の要約をairUで確認することができます。要約の中から閲覧したい卒業成果物を選んでください。なお、[要約はairUマイページ>教材BOX>補助教材>その他](#)に掲載しています

(2)閲覧申込手続きをする

閲覧を希望する場合は、airUマイページの「コンシェルジュ」または「学習・事務手続きに関する質問票」かメール（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）で、下記を記載の上申し込んでください。論文を手配する都合上、閲覧希望日の1週間前までに申し込んでください。

件名：卒業論文の閲覧希望

1. 執筆者氏名・執筆年度
2. 執筆者所属コース
3. 論文題目
4. 閲覧希望日時（日程は2候補以上記載してください）
5. 瓜生山キャンパスまたは外苑キャンパス

閲覧方法・注意点

- ・瓜生山キャンパスか外苑キャンパスの事務局内でパソコン上または複写した紙媒体での閲覧となります。
- ・閲覧は、当日キャンパス内事務局フリースペース内でのみ可能です。閲覧後や席を離れる際は論文を事務局まで戻してください。
- ・時間制限は特にありません。一日で閲覧できない場合は再度希望日を申請してください。
- ・複写、印刷、撮影は出来ません。なお、ポイントをパソコンまたは手書きでメモすることは制限していません。
- ・大学に保管が無いものや執筆者が「閲覧不可」としている論文があります。

13. 学外スクーリングを受講される方へ

●はじめに

学外でのスクーリングでは、博物館、美術館、神社仏閣や歴史的建造物などで研修を行うことがあります。その際には、普段立ち入ることができない場所を訪れる場合もあります。

このような学外でのスクーリングを受講するにあたって、準備しておくべきことや守らなければならないルールを以下に示しました。大まかには、「文化財に対する配慮」、「団体行動に関する注意」、「体調管理のための持参物」の3点です。しっかり熟読し、理解して、スクーリングに臨んでください。

また、これらの準備物や守るべきルールは、学外スクーリング受講時に限るものではありません。とくに文化財に対する配慮は、過去の人々の営みから生まれ、現在まで守り伝えられてきた文化財を、次の世代に伝えるという点でとても大事な行為です。文化財に接する機会には、「文化財を汚さない、傷めない」ということを意識して行動しましょう。

●学外スクーリングのときの注意点

1：持参物	<ul style="list-style-type: none">①筆記用具（鉛筆 [HB～2B]）②タオル（雨・汗ふき用）③雨具（折りたたみ傘・カッパ）④履き替え用の白靴下（建物に上るスクーリング時のみ）⑤夏のスクーリング時の持参物<ul style="list-style-type: none">・虫除け・水分補給のためのお茶・帽子夏の学外研修時には日射病・熱射病対策として必ず用意しましょう。日傘は、メモをとるときの妨げとなり、また研修先によってはさせないので、避けましょう。⑥冬のスクーリング時の持参物<ul style="list-style-type: none">・カイロ・重ね履き用の靴下寺院拝観時には足がかなり冷えるので、防寒はしっかりしましょう。
2：荷物	荷物はコンパクトにしてください。移動をともなうことや、研修先の障子や襖、建具などにつけて、モノを傷めてしまう可能性があるからです。とくに宿泊の荷物（スーツケース、キャリーバッグ）は、各自最寄り駅のコインロッカーなどに預けてから集合してください。
3：服装	<ul style="list-style-type: none">①装飾が少なく身動きのしやすい服装を心がけましょう。障子や襖といった材質の弱いものは、私たちが身につけている衣類によって傷めてしまうことがありますので、建物に上がるスクーリングでは、ジーパンは避けましょう。また、神社仏閣では、ノースリーブ、ランニング、短パンなどは避けましょう。②運動靴やウォーキングシューズなど歩くのに適したものを選んでください。パンプスやヒールのある靴は不適です。

<p>4：見学先 での心得</p>	<p>①文化財に触れることが厳禁であることは言うまでもありませんが、狭い場所に露出展示されている場合、故意にでなくとも、着衣や持ち物で引っ掛けてしまう危険があります。そういう立ち居振る舞いも含めて、文化財には触れないよう注意してください。</p> <p>②美術館、博物館、宝物館など展示ケースのある施設では、ガラスケースに手などの汚れを付けないよう、触れないように心がけましょう。</p> <p>③堂内の仏像や照度を落としてある展示場などで、管理者のご配慮でライトをあてて見せてくださることもありますが、個人的にペンライトや懐中電灯で文化財を照らすことはやめましょう。</p> <p>④筆記用具は鉛筆（HB～2B）のみです。文化財を汚すのでインクの出るもの（ボールペン、マーカーなど）、シャープペンシルは使用しないでください。また、アクセサリ類、マニキュアなども、文化財の破損・汚染の原因になるので避けましょう。消しゴムのかすなどは、床や畳に落とさずに、紙に包んで持ち帰ってください。</p> <p>⑤建物に上って見学する際、素足は厳禁です（ストックキング・タイツも不可）。汗や足の汚れなどで床や畳を汚さないため、必ず靴下を履きましょう。非公開の文化財やお茶室に入る際は、履き替え用の白靴下を準備し、建物に上る前に履き替えましょう。</p> <p>⑥建物に上って見学する際、リュックサックなどの背負う荷物は、必ず下ろして前に持ちましょう。場合によっては、貴重品・ノート・鉛筆以外のものは教員・アシスタントの指示に従い、指定の場所に置くか、預けるようにしましょう。</p> <p>⑦雨天時や夏場、建物に入る前にタオルで雨や汗を拭くようにしましょう。湿気を嫌う建物や文化財を濡らさないためです。</p> <p>⑧建物の中で研修を受ける際、着衣が床をこする恐れのある場合は、裾を折り曲げるなどの配慮をしましょう。</p> <p>⑨柱や障子、襖などにもたれたり、触れたりしないように注意しましょう。荷物などを置く場合も、壁や柱に持たせかけてはいけません。</p> <p>⑩炉（ろ）の切られている部分に乗ってはいけません（茶室など）。</p> <p>⑪扉などにむやみに触れたり、閉じてある扉を開いたりしてはいけません。</p> <p>⑫神社仏閣での見学や建物に上っての見学の際は、脱帽しましょう。関係者の方々の出迎えのある場合は、必ず「おじゃまいたします。」「ありがとうございました。」などの挨拶をし、この場を提供していただいたことに対し、感謝の気持ちを表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の中やその周辺（庭園も含む）での飲食は厳禁です。 ・写真撮影・スケッチについては研修先の指示に従ってください。なお、撮影した写真やスケッチは見学先の許諾なく、SNSやインターネット上で公開することを禁じます。 ・参詣者・見学者の妨げにならぬよう周りに気を配りましょう。私語も慎みましょう。 ・グループを離れるなど、勝手な行動は慎んでください。教員・アシスタントの指示に従い、なるべく集団でかたまっで移動するよう心がけましょう。 ・携帯電話の電源は切り、研修時に使用しないでください。 ・学外研修では徒歩で移動を行うことが多くあります。重要文化財を見学する場合もあるため、杖を利用される等の相談があればスクーリング申込み前に事務局にお問い合わせください。
<p>5：その他</p>	<p>【神社仏閣や歴史的建造物で研修を受ける際の心得】</p> <p>神社仏閣での研修の場合、宗教的に支障がなければ、見学の前もしくは後に合掌・黙礼をしましょう。</p> <p>貴重な神社仏閣や歴史的建造物を今私たちが目にできるのは、いにしえより幾人もの人々の手によって大切に守り伝えられてきたからにほかなりません。現代に生きる私たちもまた、この人類の貴重な財産を後世の人が目にできるよう大切に守り伝えていかなければなりません。神社仏閣や歴史的建造物で研修を受ける際には、そのかけがえのなさを充分に認識し、興味（自分）本位にならぬよう自己を律しながら、文化財を汚さない、傷めない行動を心がけましょう。</p> <p>神社仏閣や歴史的建造物は、私たちにとっては学習の場であっても、そこに従事する方や参詣・参拝に訪れている方にとっては生活の場であり、大切な宗教施設です。ていねいに掃除がなされ、清められた場であることを忘れず、真摯な気持ちで研修に臨みましょう。</p>

